

## 249. ウルメイワシ（押寿司）

昔、このようなお鮓があったような気がするが、その記憶は定かではない。近年、押寿司自体が飲食店・売場から消滅しつつある。握りづらい・出来ないネタの価値を高め、また、酢飯からこぼれ落ち食べ辛いネタの存在価値を高め、お鮓の概念を拡張、その利用機会を与えてくれた先人達の知恵、創意工夫の努力に御礼を申し上げたい。コロンブスの卵



と言ってしまうばそれまでだが、初めて世に送り出した方（々）は、称賛に値する。

消費者・利用者の嗜好の変化なのか、提供側の絞り込みなのか、消滅しつつある事実だけが存在する。鶏が先か卵が先か・どちらが鶏なのか卵なのか。ハッキリ言えることは、押寿司が不味くなったという事実はない。その好きを知る人がだんだんと減ってきていることと、その好きもしくは、押寿司そのものを知らない人が増えてきたことに相違ない。

なぜ「知らない」のか。その理由は、提供しないからに尽きる。消費者・利用者自ら押寿司を作ることは、考えられないから。「ないから知らない」の結論に至る。そんな好き押寿司が消えつつあることに強い危機感と、消えてしまった対象にやるせない喪失感を禁じ得ない。共感いただけるなら、「知らない人」にその好きを伝えていただきたい。